

暑

三年

画数 12
筆順 日 早 暑
オン シヨ
クン あつしい

成り立ち



くず物入れにくず物がはみ出るほどいっばいつめこまれた形をあらわし、「物がひどく多い」ことをあらわした者(年319)と「日」を組み合わせで作った字です。「日の光がひどくつよい」こと。「日がひどくてりつける」ことをあらわした字で、「あつい」といういみをあらわしたものです。

音のシヨは、者(シヤ)のへんかしたものです。

使い方

▽ひどい暑さのことを酷暑とか猛暑とかいいますが、ほんとに暑さにはがまんのしようがなく、すずしいところに避暑したくなります。

熟語例

- ▽酷暑(酷は「げしい」「きびしい」こと。きびしい暑さ、ひどい暑さのことをいいます。)
- ▽猛暑(猛烈な暑さ、といういみのことばです。猛も「げしい」といういみの字です。)
- ▽避暑(「暑さを避ける」こと。夏の暑いときにすずしい海や山に行つてそこで過ごすことをいいます。)
- ▽炎暑(もえるような夏のたいようにてらされたときの暑さのこと。)
- ▽残暑(立秋をすぎても残っている暑さのこと。立秋は八月七日ごろで、この日から秋に入りますが、暑さはまだまだきびしいものがあります。)
- ▽大暑(一年のうちで暑さのもっともひどい日といういみで名づけられた日で、七月二十三日か二十四日あたりあります。)

使い方

- ▽おおかさんのつづだいをしたら、「手助けをしてください、本当に助かるわ」と、いわれました。
- ▽人助けというのは、なかなかむずかしいことです。しかし、困っている人を見たら、助けてあげるのは、人間としての、つとめです。

熟語例

- ▽助力(力を加して助けること。「もし、あなたが、このしごとをして下さるなら、私は助力をおしません」などというふうに、つかいます。)
- ▽助命(命を助けること。「死刑囚の助命を嘆願する」などというふうに、つかいます。)
- ▽救助(命があぶない人を助けること。「人命救助にかつやくした消防士が、表彰された」などというふうに、つかいます。)
- ▽援助(応援し、助けること。「交通遺児を援助する」などというふうに、つかいます。)
- ▽補助(補い、助けること。不足しているところを補つて、助けることです。「家計を補助するために、働く」などというふうに、つかいます。)

助

三年

画数 7
筆順 日 且 助
オン シヨ
クン たすけける 助かる・すけ

成り立ち



同じものがたくさんつまかさねられている形をあらわし、「かさねる」といういみをあらわした「且(組2181)」と、「力」とを組み合わせで作った字で、「力を出してはたらいっている人に力を加してやって、「力をかさねあわせる」こと」をあらわした字です。

むかし、やくしよの長官を助ける次官の名前を「助」といいましたが、これは「助け」ということばの「た」がはぶかれたものです。

また、「助」は人の名前にもよくつかわれたところから、「ねぼ助」「のみ助」というつかい方も生まれました。